

# すぽっとライト

マイクを持って街へ No. 17

## ～できる人が、できる時に、できることを～

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、さまざまなボランティア活動を行い、現在はNPO法人新町川を守る会の理事長を務める傍ら、市民や行政からの要請に応え、日夜奮闘されている中村英雄さんにお話を伺いました。



NPO法人新町川を守る会  
理事長 中村 英雄 さん



「ひょうたん島クルーズ」をはじめたきっかけは？

平成元年に水際公園ができ、その頃からいろいろなイベントを始めました。そのような時、脇に流れる新町川はゴミが多くて非常に汚れていることに気づき、それから清掃活動を行うようになりました。現在も月に2回程行っています。



船上から見える眉山(びざん)

車いす利用者等の乗船はありますか？

同じ頃からはじめた「ひょうたん島クルーズ」ですが、当初は週2回で年間100人程度の乗客でした。ここ7年くらいは毎日運航していて、今年は年間4万人にのぼりそうな勢いです。

夏期は日中を避けて17時からの運航ですが、阿波踊り期間中は朝10時から22時まで運航します。それでもお客さんがたくさん並んで途切れません。

車いす利用者の乗船は多く、多い日で1日10名、平均しても1日1名はあります。先日も養護学校の生徒が乗船しました。



今回乗船した遊覧船

乗船口にある車いす昇降機は4, 5年前に徳島市が設置してくれました。おかげで車いすのまま乗船できます。このように車いすのまま乗船口まで下りることができる川は全国的にも珍しいと思います。

**誰もが乗れること**が大事です。



**車いす等昇降機**



**川の大切さを訴える中村さん**



**新町川にかかる橋「両国橋」**

こうした経験から、これからは「川からの土地再生」ができるのではないかと思います。市民が川に関心を持って船に乗れば県外客も船に乗り、そうすれば地域全体がよくなると思っています。皆さんのご協力よろしくお祈いします。

清掃をしてきて、川がきれいになってくると、市民が川に関心を持ち出しました。すると、行政がいろいろと応援してくれるようになりました。護岸の整備もその1つです。

また、全国各地から見学に来るようになり、注目されるようになりました。鳥取県には「ひょうたん島」なるものがあるそうで、「ひょうたん島サミット」をしませんかと言われていました。

さらに、来年か再来年には「水の郷サミット」が徳島市で開催されますし、「川での福祉と教育」も開催される予定です。



**新町川の向こうに眉山が見える絶好のポイント**

## ひょうたん島クルーズとは？

新町川と助任川に囲まれた中心部の中洲は、上から見るとその形が「ひょうたん」のように見えることから「ひょうたん島」と呼ばれています。

この1周6kmある「ひょうたん島」を遊覧船で周遊する船旅を言います。

運航日：原則毎日

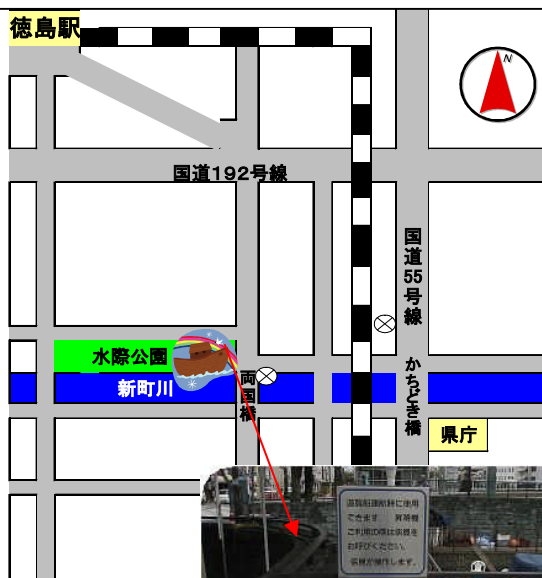
運航時間：午後1時～4時（7. 8月は午後5時～8時）

保険代として100円が必要

詳しいお問い合わせは新町川を守る会までお願いします。

ホームページ：<http://www2.tcn.ne.jp/~nposhinmachigawa/index.html>

Tel: 088-655-1201



「ひょうたん島」わかりますか？

## インタビュー後記

インタビュー当日は中村さんを訪ねてくる人が非常に多く、多忙さがうかがえました。そんな多忙な中、運航しながらのインタビューとなってしまい、ご迷惑をおかけしましたが、中村さんは終始笑顔で、紙面に書ききれないほどさまざまなお話をすることができました。

車いす利用者等の乗船が多いということは、誰もが乗れることの証明であり、乗客が増えているのは「よかった。また乗りに来よう。」というリピーターも多くなっているからだと思われます。まだ乗ったことのない方はぜひ足を運んでほしいと思います。（交通環境部消費者行政課 井上）